

2024 年度入学式 新入生誓いの言葉

春の訪れを感じる今日の良き日に、私たちはそれぞれの夢を持ち、ここ日本福祉大学に入学しました。本日は、私たちのためにこのような盛大な式をあげていただき誠にありがとうございます。

今年は新年からとても悲しい出来事がありました。テレビで流れる能登半島地震の被災地の現状を見る度考えさせられ、胸が苦しくなるばかりです。今回の地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、ご遺族の皆様にお悔やみ申し上げます。そして被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

報道で、私たちと同じ受験生だった被災者の方が、当たり前にあった日常を一瞬で奪われ、厳しい環境におかれた中でも、できることを協力し合いながら乗り越えていく姿がとても印象に残っています。そして何より今、私たちがいつもの様に生活できていること、今、生きていられることを当たり前だと思わず、一日一日を大切に生活したいと改めて感じました。

将来私は、人の気持ちに共感し、患者様やその家族に寄り添える看護師になりたいです。病棟看護師としてもですが、今回のような大規模災害のように、日常が奪われた方が生活している避難所などで活躍する災害支援ナースにも憧れています。災害現場では、コミュニケーション能力だけでなく他職種と連携する力や迅速な対応、判断が求められます。このような力を身につけるために、私は、これからの4年間、看護師としての知識や技術はもちろん、日本福祉大学の5つのスタンダードである「伝える力」「見据える力」「共感する力」「関わる力」「地域社会に貢献する力」を習得するため全力で励みます。そして、どんな場面でも、患者様の心に寄り添ったケアができる看護師になります。

最後になりますが、私たち新入生一同はこれまで支えてくださった全ての方々に感謝し、それぞれの夢や目標に向かって日々邁進していくことをここに誓います。

2024年4月1日

大学 新入生代表

看護学部 看護学科 細井 あんじ